

各事業部長の今年の決意



再処理事業部長

きじま かずお
木島 和夫我々は何があっても絶対に諦めない、
我々ならできるという気持ちで、
しゅん工に向けて取り組みます

今年は、再処理工場の2026年度中のしゅん工、その後の安全・安定運転のために備える年になります。

まずは、審査から次のステップへと着実に進める中で、当社と協力会社が一体となり、これまで以上に部門間のコミュニケーションを密に取り組んでまいります。また、操業後を見据え、重大事故等対処訓練により現場力を高めるとともに、設備を適切に維持管理するための保全や運転員の教育・訓練などに取り組み、現状に満足せず、更なる高みを目指して邁進してまいります。

安全面では、より一層現場に密着した災害防止対策を行っていくことに加え、冬季における転倒災害にも気をつけて、労働災害ゼロを目指してまいります。

再処理工場のしゅん工・操業に向けて我々は何があっても絶対に諦めない、我々ならできるという気持ちを持って、地域皆さまのご期待に応えられるよう取り組んでまいります。



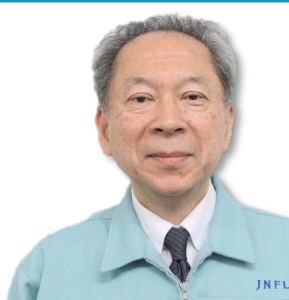
濃縮事業部長

さいじょう まさあき
西條 政明当社の濃縮技術を着実に維持・向上
させ、更なる発展に繋がります

当社・協力会社・メーカー全員の力を結集し、生産規模拡大に向けた遠心機の更新工事を安全最優先で進めるとともに、安定した濃縮ウランの生産に取り組んでまいります。

労働災害では、常に環境が変わっていく現場において、昨日と今日では何が違うのかといった目で観察し、「これで良いか、大丈夫か」と自分自身に問いかける姿勢を常に持ち、昨年達成した労働災害ゼロを継続できるよう取り組んでまいります。

原子力を最大限活用するためには、原子燃料の安定確保が必須であり、エネルギーセキュリティ確保の観点からも、海外調達を極力減らし、国内での燃料調達を確実にしていくことがますます重要になります。そのためにも、当社の濃縮技術を着実に維持・向上させ、濃縮事業のさらなる発展に繋がってまいります。



燃料製造事業部長

きたがわ けんいち
北川 健一「燃料メーカー」としての成長を
目指し、着実に前進していきます

今年は、MOX燃料工場の2027年度中のしゅん工、その後の安全・安定操業に向け、着実に歩みを進める1年になります。

現場では、工事と並行して、設置された機電設備に電源が供給され、設備が活きた状態に変化していきます。安全・安定操業に向け、引き続き、訓練や教育等にも取り組み、必要な能力・スキルを身に付け、設備を稼働させる準備を進めてまいります。

また、多忙な1年になることから、これまで以上に進捗管理の徹底と効率化に努めていくとともに、安全を最優先に作業を進め、労働災害ゼロに取り組んでまいります。

目の前の課題を一つ一つ解決することで、安全・品質・業務効率・プロセスの継続的な改善につなげ「燃料メーカー」として原子燃料サイクルの確立を目指し、着実に前進してまいります。



埋設事業部長

おうみ ただし
近江 正長期的な安定操業に向け、
覆土作業を安全最優先で進めます

当社および協力会社の皆さまとともに、埋設事業の飛躍の一年にしてまいります。

今年も、引き続き、廃棄体を受け入れ、定置する作業を安全に継続してまいります。

また今年は、1号埋設施設において、埋設施設の最終形態である覆土作業が始まります。覆土工事は、今後、長期的に続いていく仕事であることから、現状の方法に満足することなく、時代に合わせた新しい技術を積極的に導入することで、より良い方法を追求してまいります。また、新たな作業が加わることから、より一層安全最優先で進め、労働災害ゼロに取り組んでまいります。

同時に、地域の皆さまにご安心いただける事業を継続していくため、埋設施設の操業を計画的に進め、地域の一員として事業に取り組んでまいります。

当社事業は、地域の皆さまの信頼があって成り立つものであり、長年にわたって支えていただいている地域の皆さまへの感謝の気持ちを忘れることなく、これからも地域とともに歩み続け、地域の発展に貢献してまいります。